

老人会だより

発行 内良老人クラブ
高良校区老人クラブ連合会

〇ひとりごと

雨の季節六月になりました。家に居ることが多くなるとお思います。皆様は毎年どの様に過ごしておられますか。老人会では会員募集についてさまざまな意見があります。

あるとき増えないのは「あたりまえ」この言葉を聞きました。

さて、「あたりまえ」について考えてみました。子供の頃、学校のクラブ活動で喉が乾くと蛇口をひねり水道水を飲んでいたことを思い浮かべます。当時は、これが「あたりまえ」だったと思います。皆さんは如何だったでしょうか。今はペットボトルの水。昔あたりまえにしていたことをすっかり忘れ、便利で安全とおもわれる今の「あたりまえ」に慣れてきました。

極端な考えですが、変わらないのは、歳をかさねると人間誰しも【老いて「あたりまえ」今も昔も変わりません。この「老いても」老人会の言葉が嫌い。老人会に加入しません。とよく聞きます。元々老人会活動に興味がないのではないのでしょうか。

仲間を増やす一案として、活動の楽しさを「アピールする」。これも考えられます。老人会の活動の楽しさを、皆様と共に背中ですし、よし「参加するぞ」と申込があるようにしたいと思えます。

むすびになります。が、天気の良い日には、近くを散歩しながら老後に備えて（脚力を鍛

える「貯筋」を兼ねて「ふれあい2000」まで足を運び、おしゃべりなどしてみてはいかがでしょうか。お待ちしております。

ふれあい2000当番一同

各クラブからのお知らせ

横馬場クラブ

①「脳トレ健康づくり」研修会参加のお礼。五月十四日(木)町内公民館にて四十名の参加を頂き楽しく有意義なひと時をすごしました。

昨年同様包括支援センター(講師二名)の指導よりフレイル予防や転倒予防の指導を頂き大変参考になりました。

②脳トレ通信カラオケ 初心者一ヶ月無料
六月一日・八日・十五日・二十二(月)
第五週目は休み

十三時～十六時 　ふれあい2000

長園クラブ

①通信カラオケ 　ふれあい2000
六月三日(水)・十七日(水)
午後一時～四時

②高老連本部計画の行事
六月十八日(金)十一時～十五時
「楽しい脳トレ」に参加お願いします。

会費1000円

井掘クラブ

*楽しい脳トレ

六月十八日(金)十一時～十五時
ふれあい2000

参加お待ちしております

山ノ手クラブ

①高峰公園清掃

六月八日(月)午前八時三十分～
皆さんのご協力をお願いします

②民生委員から民生行事参加の要請があった場合、有志の参加をお願いします。

③山ノ手ダーツ愛好会

第二・四水曜日。十三時三十分～十五時
参加お待ちしております。

前川原・中川原・下川原クラブ

◇五町内老人会環境整備

六月十四日(日)午前八時～

こちら公民館前遊具周辺広場

*前川原クラブ・埋田公園清掃
六月十日(木)午前九時～

*中川原クラブ・脇畑公園・下川原第二公園

*下川原クラブ・鷹番・下川原公園清掃

各クラブ、役員及び有志で行います。会員の皆様は散歩の途中など都合の良い時間にゴミ拾いなどお願いします。

鍾水クラブ

①脳トレ通信カラオケふれあい2000
六月四日・十六日(木)九時～

②公園清掃の連絡
鍾水広場

六月二十一日(日)午後一時～

①内野クラブ 会場は7町内公民館
会長・班長実務打ち合わせ

②公園清掃
六月八日(月)午前十時～

③カラオケ虹の会
六月八日(月)午前八時三十分～
日時：六月九日・二十三日(火)

高良内校区老人クラブ連合会行事

午後一時～

楽しい脳トレ

① 6月19日(金)
② 11:00～15:00

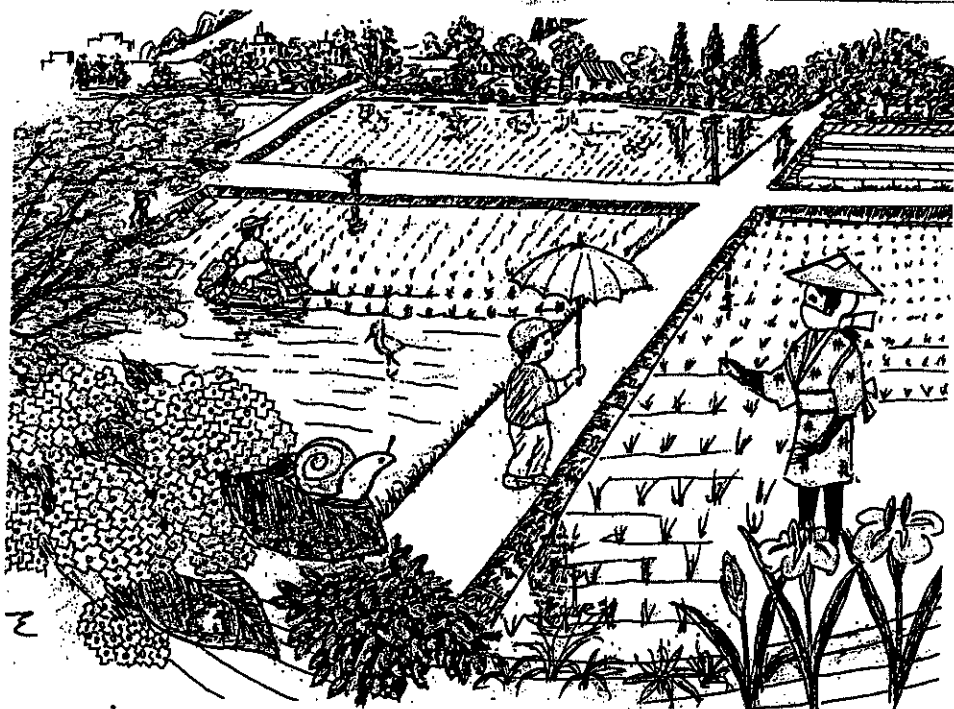
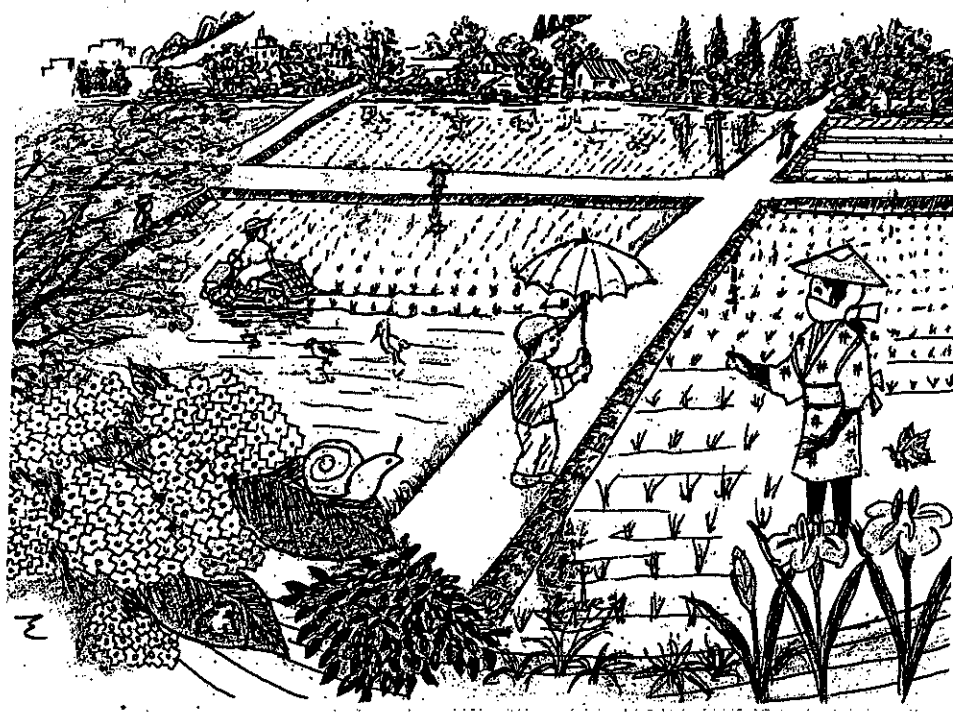
- *計算問題(簡単な問題)
- *脳トレ問題
- *情報交換
- *ご祝儀袋の練習
- *希望者昼食会(各人準備)
- *資料代：100円募金箱へお願

間違いは七ヶ所です。「印し」を付けなければ何回でもチャレンジすることが出来ます。

解答はふれあい2000に掲示しております

戯画

あまゆめ



昭和流行歌物語

雨よ降れ触れ

長園クラブ

「雨のブルース」

石橋謙蔵

アメリカのジャズの面白さやその心を日本人に根付かせたのは作曲家服部良一でした。作詞をした野川香文(こうぶん)は当時日本で唯一のジャズ評論家でジャーナリストでもありました。服部良一は「別れのブルース」がヒットしたので、引き続き「雨のブルース」を発表しこれもマイナーな曲ですが淡谷のり子のしっとりとした深みのある歌声に乗せると聴く人の心に触れる感動が互いに共鳴し心を震わせる圧倒的な力があった。淡谷のり子は正直言って自らの音程は合わないブルースが好きではなかった。昭和十二年日中戦争が勃発し中国大陸で戦火が拡大されると「別れのブルース」だの「雨のブルース」だのは曲調が軟弱であるとの理由で歌うことを禁じられた。軍の慰問に前戦を回っていた頃、当然ブルースは禁じられていたが戦う兵士たちが最も聞きたがっているのが哀愁のこもったマイナーな曲だった。津軽女で、じよっぱりりの淡谷のり子は軍の命令に背いて「別れのブルース」や「雨のブルース」を堂々と歌った。「雨のブルース」や二番の歌詞に「くらさだめに、うらぶれ果てし身は、雨の夜道をとぼとぼと、ひとりさまよえば、あかえり来ぬ心の青空ふりしける夜の雨よ、此の歌詞に明日の生命の知れぬ兵士たちの身に重ね合わせて聞く者の心を挿んだ。

◇太平洋戦争末期白い鉢巻をした若い特攻隊員の前で歌っていた時、出撃命令を受けたまだ少年の面影を残した隊員がにっこり笑って淡谷のり子に軍人らしく敬礼し、一人ずつ去っていったという。ステイジではプロ歌手として絶対涙を流さなかった。津軽のじよっぱり歌手がこの時はアイシヤドーを涙で落として鳴咽し、歌を中断してしまっただけという。

◇私事ですが戦時中「若鷺の歌」を子供の頃よく聞いて育ち、男の子は大きくなったら兵隊さんに成りたいと皆な思っていたと思えました。「若鷺の歌」の歌詞を書けるとこまで、♪若い血潮の子科練の七つポタンは桜に満ち、今日も飛ぶ飛ぶ霞ヶ浦にや、でっかい希望の雲が湧く、作詞作曲は西條八十(やそ)と古閑裕而(ゆうじ)でした。別名「予科練の歌」次回は「君恋し」"有楽町で逢いましょう"と続きます。